

# 2012年度業績予想修正と 構造改革について（要約）

2012年10月3日

日本ケミコン株式会社

2012年度業績予想修正

常務取締役 須賀 純一

構造改革及び2013年度業績目標

代表取締役社長 内山 郁夫

## 業績修正の背景

### 東日本大震災による悪影響

- 1．アルミ電解コンデンサのシェアダウン
- 2．中国・台湾の競合メーカーの台頭による厳しい価格競争

### 世界経済の低迷

- 1．欧州各国の財務問題
- 2．当グループの売上の約半分を占める中国市場が民生機器市場、産業機器市場共に急激に冷え込み、回復の兆しが見えない状況にある

日本ケミコングループの業績が悪化し、2012年度上期及び通期業績予想を大きく下方修正

## 2012年度業績予想修正

### 2012年度上期業績予想修正

単位：億円	2012年度上期		増減額
	前回公表 (a)	今回修正 (b)	(a)-(b)
売上高	500	458	△ 42
営業利益	△ 7	△ 42	△ 35
経常利益	△ 11	△ 53	△ 42
当期純利益	△ 15	△ 59	△ 44

## 2012年度業績予想修正

### 2012年度通期業績予想修正

単位：億円	2012年度通期		増減額
	前回公表 (a)	今回修正 (b)	(a)-(b)
売上高	1,100	930	△ 170
営業利益	15	△ 68	△ 83
経常利益	10	△ 80	△ 90
当期純利益	0	△ 97	△ 97

# 構造改革

## 1. 構造改革の骨子

1) 生産拠点の統廃合

2) 人員の削減

3) 人件費の削減

4) 設備投資の原則凍結

5) 在庫の圧縮

6) 事業の選択と集中

7) 新製品による成長戦略

# 構造改革

## 1. 構造改革の骨子

8) 構造改革に要する費用  
10億円を見込む

9) 構造改革により期待される成果  
80億円の利益改善  
2013年度の営業利益30億円  
当期利益15億円を見込む

# 構造改革

## 2. 構造改革の目標

売上高900億円でも利益が出せる  
企業体質への変革

損益分岐点の引下げ  
1,070億円から900億円へ

# 構造改革

## 3. 構造改革目標達成の為の施策と効果金額

固定費削減合計額	60億円
----------	------

生産性向上による改善額	5億円
-------------	-----

新製品による改善額	15億円
-----------	------

合計改善効果額	80億円
---------	------



# 2013年度業績目標

## 2013年度業績目標

単位：億円	2013年度 目標
売上高	960
営業利益	30
当期純利益	15



**(注意事項)**

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測につきましては、  
本資料作成時点において入手可能な情報により当社が合理的に判断した予想であり、  
実際の業績は今後様々な要因により変動する場合がございます。